

# まちのキラリ+びと



敦賀商工会議所女性会  
会長 宮本 佳奈 さん

一緒にやりましょう！  
会員募集中です！

女性ならではの柔軟な視点で敦賀を元気に

敦賀商工会議所女性会（以下、女性会）は、女性経営者が集まった組織で、平成13年に「女性ならではのユニークな着眼点で地域経済の活性化」を図る目的で発足しました。会員は30歳代から70歳代と幅広い年齢層で、現在24名で構成されています。

女性会は、新しい事業を企画運営する「something new 委員会」、女性会創立20年の記念事業を担当する「20周年記念委員会」、「総務委員会」の3つの委員会で組織されています。

「something new 委員会」が企画運営しているハンモックイベントは、参加者それぞれのスタイルでゆったりとした時間を過ごしてもらうことで、普段時間に追われている方たちで大変好評をいただいております。毎回予約でいっぱいになる代表的なイベントとなりました。最近では、敦賀駅西エリアにある「ちえなみき」とコラボレーションするなど、今後も新しいことに挑戦していきます。

「20周年記念委員会」では、創立20周年を記念したホームページを作成しており、令和5年春までに本格稼働を予定しています。ぜひアクセスしてみてください。

「総務委員会」では、外部講師や会員が講師を務める勉強会を開催し、会員のスキルアップを図るとともに、親睦を深めるイベントなども企画しています。

アットホームな女性会です。ご興味のある方、お気軽にお問い合わせください。

▼「波風ハンモック」の様子



▼「ちえなみき」とコラボ



## まちの宝を発見！ つるが歴史遺産



豪華な造りの社殿を  
ぜひ見てください

案内人 学芸員 笠原 朋与



▲天井の花鳥図



▲本殿組み物の彫刻

福井県指定有形文化財 建造物  
(平成28年3月25日指定)

### 天満神社 本殿・拝殿・石の間

#### 天満神社の社殿の歴史

11月20日に天満神社（栄新町）境内で行われる恵比須神社のせんべい焼きといえ、皆さんよくご存じかもしれません。このせんべい焼きには、神社周辺の漁師が魚を竹に吊って神社の前に供えていたという港町らしい由来があり、今年も敦賀の人たちの無病息災の願いを込めて火がたかれます。

今回は境内にある、天満神社社殿について紹介します。社殿は、本殿と拝殿を石の間でつないだ権現造と呼ばれる様式で、柱は漆塗りで、組み物には鳳凰や獅子などの豪華な彫刻が彫られています。拝殿の格天井には金地に花鳥の絵が描かれていて、このような豪華な装飾を持つ社殿は高く評価されています。

実は現在建っているこの社殿は、滋賀県彦根市にあった佐和山神社の社殿を移築したものです。元々、彦根藩主の菩提寺清涼寺境内で彦根藩祖井伊直政と3代直孝を祀る護国殿として文化8年（1811）に建てられ、その後、神仏分離により清涼寺から離れて佐和山神社の社殿となりました。天満神社の前社殿は、昭和20年（1945）の空襲で社殿が焼失してしまい、戦後氏子さんたちの尽力を経て、昭和35年（1960）に佐和山神社の社殿が天満神社へ移築されることになりました。

せんべい焼きの時には暗くなっているため、天満神社の社殿を見るのは難しいかもしれません。ぜひ昼間の明るい時に訪れて、社殿の彫刻をご覧になってはいかがでしょうか。

#### 広報担当者の つぶやき

先日保育園の給食を取材したことを機会に、自身が子どもの頃（数十年前）の給食の献立を思い浮かべてみました。思い浮かぶのは、きなこの揚げパンにホワイトシチューと、少し凍らせたみかん。今でも食べたくなりますよね。皆さんの思い出に残る給食の献立は何でしょう。（T）

総合運動公園陸上競技場を発着点とした新コースで、3年ぶりに行われたマラソン大会。ランナーたちは、気持ちの良い秋晴れの下をそれぞれのペースで駆け抜けました。走り終えた後のランナーたちの顔が、清々しい表情になっているのが印象的でした。マラソンが苦手な私も次回挑戦してみようかな…。(M)